

平成12年度～平成14年度
附属図書館各種委員会専門部会開催記録

①附属図書館運営委員会

平成12年度

第3回 平成13年2月7日(水)～平成13年2月16日(金)

平成13年度

第1回 平成13年12月14日(金) 10時30分～12時00分

第2回 平成14年 3月20日(木) 10時30分～12時00分

平成14年度

第1回 平成14年 4月25日(木) 16時00分～17時20分

第2回 平成14年 7月 9日(火) 10時30分～12時20分

第3回 平成14年9月5日(木)～平成14年9月9日(月)

②附属図書館運営委員会運用専門部会

平成13年度

第1回 平成13年 7月17日(火) 10時00分～11時30分

③附属図書館運営委員会著作権専門部会

平成13年度

第1回 平成13年 8月20日(月) 15時00分～17時00分

附属図書館運営委員会（平成12年度 第3回）議事要旨
～持ち回り委員会～

日時：平成13年2月 7日（水）13時00分 ～
平成13年2月16日（金）17時00分

出席委員 小山・横矢・藤原・福田・竹家・小笠原・谷原・塩峠・湊・森・橋爪・今田・
千原の各委員

議題・審議結果

<審議事項>

(1) 京阪奈ライブラリー・コンソーシアムの設立について

小山附属図書館長から、配布資料に基づき、次のような提案がなされた。

このことについては、平成12年9月11日開催の第2回附属図書館運営委員会にてその設立構想が説明されたこと、ならびに平成12年11月30日開催の第6回附属図書館アドバイザー委員会においてその設立構想・主旨・目的等の説明がなされたこと、その後、京阪奈地域に在住の研究所等に対して本コンソーシアムへの参加呼びかけを行い、設立趣意書案や事業計画案等の調整を行い、設立のための準備を進めてきた経緯・説明がなされた。

その結果、9機関から参加の同意が得られ、設立準備が整ったので、本学附属図書館も本コンソーシアム設立に合意し参加するために、本運営委員会を持ち回りで開催し、了承を得ることについて諮られた結果、全委員から了承が得られた。

なお、本コンソーシアムの具体的な事業計画や活動方針等については、今後のコンソーシアム総会で検討していくことが、併せて了承された。

附属図書館運営委員会（平成13年度 第1回）議事要旨

- (1) 日 時 平成13年12月14日(金)10時30分～12時00分
- (2) 場 所 附属図書館1階会議室
- (3) 出 席 者 小山委員長、藤原、関、高橋、加藤、塩寄、橋爪、大城、
千原の各委員
- 欠 席 者 横矢、谷原、砂原、森の各委員
- 研究開発室 松本室長、吉川助教授、羽田助手
- 事 務 局 末次学術情報課長、坂本学術情報課長補佐、
河本情報管理係長、小堀情報サービス係長、奥田専門職員、大石情報管
理係係員
- (4) 配付資料一覧
1. 前々回議事要旨（案）
 2. 前回議事要旨（案）
 3. 運営委員会委員名簿
 4. 運営委員会専門部会委員名簿・同部会議事要旨（案）
 5. アドバイザー委員会委員名簿
 6. 京阪奈ライブラリーコンソーシアム設立趣意書・参加機関名簿・
京阪奈LC申し合わせ 外
 7. 電子図書館将来計画（案）について
 8. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用規程の一部改正（案）
 9. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用細則の一部改正（案）

議題・審議結果

（前々回、前回議事要旨の確認）

前回運営委員会が持ち回りにて行なわれたことに伴い、確認のなされていない前々回議事要旨及び前回議事要旨が配付資料1及び2のとおり承認された。

（報告事項）

（1）運営委員会専門部会委員について

委員長から、配布資料3に基づき、平成13年4月1日現在の附属図書館運営委員会委員について報告があり、出席者の自己紹介がなされた。また、研究開発室教官及び学術情報課職員の自己紹介があった。

(2) 運営委員会専門部会委員について

事務局から、配布資料4に基づき、附属図書館運営委員会各専門部会委員及び、各専門部会報告があった。

(3) アドバイザー委員会委員について

委員長から、配布資料5に基づき、附属図書館アドバイザー委員会委員の報告があり、今年度新規に松下電器産業(株)の工藤氏に就任を依頼し承諾をいただいたこと、また任期満了となる各委員に継続を依頼し承諾をいただいたこと等、併せて報告があった。

(4) 京阪奈ライブラリーコンソーシアムについて

事務局から、配布資料6に基づき、平成13年3月13日付で設立された京阪奈ライブラリーコンソーシアムの設立趣意書、参加機関名、京阪奈LC申し合わせ等の報告及び現在の活動状況の報告があった。

(審議事項)

(1) 電子図書館将来計画(案)について

事務局から、配布資料7に基づき、平成15年度概算要求に向けて、電子図書館の将来計画について説明があった。ひきつづいて、各委員による次のような意見が出され、今後継続して審議していくこととなった。

- ・「電子図書館」という名称については、再考すべき時期が来ているのではないか。
- ・学内の合意のもと、図書館の組織全体の改革等を加えたもっと広い枠組みを考える必要がある。
- ・電子図書館の機能として、今後は「教育(講義)のリアルタイムデリバリー」について考える必要がある。
- ・全世界に向けての情報発信、特に東南アジア等への情報発信を心がけるべきである。
- ・将来構想の参考とするため、諸外国における最新の電子図書館の運用状況等を把握する努力をすべきである。
- ・独立行政法人化により、現在の電子計算機借料等の経費負担が大学運営を圧迫することが予想される。
- ・大学院大学の特性を生かし「学部学生・高校生向けの教材等」の作成、提供するサービスを考えてもいいのではないか。

- (2) 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用規程の一部改正について
事務局から、配付資料8に基づき、地域の各大学等との相互利用の拡大に伴い、その円滑な運用を図るため、所要の改正を行うとの説明があり、審議の結果、了承された。
- (3) 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用細則の一部改正について
事務局から、配布資料9に基づき、奈良先端科学技術大学院大学附属図書館利用規程の一部を改正することに伴う所要の改正を行うとの説明があり、審議の結果、了承された。

附属図書館運営委員会（平成13年度 第2回）議事要旨

(1) 日 時 平成14年3月20日（水）10時30分～12時00分

(2) 場 所 附属図書館1階会議室

(3) 出 席 者 小山委員長、横矢、藤原、関、高橋、加藤、谷原、塩寄、
森、大城の各委員

欠 席 者 橋爪、砂原、千原の各委員

研究開発室 松本室長、吉川助教授

事 務 局 末次学術情報課長、坂本学術情報課長補佐
河本情報管理係長、小堀情報サービス係長
奥田専門職員、徳平専門職員、大石情報管理係係員

(4) 配付資料一覧

- 1・前回議事要旨（案）
- 2・情報科学研究科選定分にかかる図書購入費の事務処理について
- 3・電子化進捗状況
- 4・著作権許諾の現状
- 5・平成13年度電子図書館システム導入機器
- 6・平成14年度電子図書館システム導入スケジュール

議題・審議結果

(前回議事要旨の確認)

配付資料1のとおり承認された。

(報告事項)

(1) 情報科学研究科選定分にかかる図書購入費の事務処理について

事務局ならびに藤原運営委員（情報科学研究科教授）から、配布資料2に基づき、平成14年度の情報科学研究科の図書購入費に係る検討経緯や、予算上の事務処理手続きなどの報告があった。

(H13年度で情報科学研究科の学年進行分にかかる図書購入経費の予算示達が終了することに伴う今後の方針について説明)

- (2) マルチメディア提示室（大）をSCSメイン会場とすることについて
横矢情報科学センター長より図書館長に依頼があったことについて、検討の結果、了承する旨の報告が図書館長よりあった。
また、横矢情報科学センター長から、SCS部会で検討された経緯とSCS設備は従前どおりとするなどの補足説明がなされた。
- (3) 電子化進捗状況等について
事務局から、配布資料3、4に基づき、電子化進捗状況および著作権許諾状況についての報告があった。
- (4) 平成13年度、14年度電子図書館システムについて
事務局から、配布資料5、6に基づき、平成13年度電子図書館システムの調達および平成14年度の調達スケジュールについて報告があった。
- (5) 平成14年度電子ジャーナル経費の予算示達について
事務局から、平成14年度に電子ジャーナル経費が予算化される予定であることについて報告があった。

(審議事項)

- (1) 図書館将来計画について
小山館長から、標記のことについて、今後も当委員会において引き続き検討する旨の提言があった。
- (2) その他
小山館長より任期満了に伴う挨拶があった。

附属図書館運営委員会（平成14年度 第1回）議事要旨

- (1) 日 時 平成14年4月25日（木）16時00分～17時20分
- (2) 場 所 附属図書館1階会議室
- (3) 出 席 者 山口委員長、砂原、西谷、関、高橋、加藤、垣内、相原、
飯田、大城、山本の各委員
欠 席 者 森、橋爪の各委員
研究開発室 松本室長
事 務 局 末次学術情報課長、中崎学術情報課課長補佐
築部情報管理係長、小堀情報サービス係長
藤岡専門職員、星屋専門職員、大石情報管理係係員
- (4) 配付資料一覧
1. 第1回附属図書館運営委員会議事録日程
 2. 前回議事要旨（案）
 3. 平成14年度附属図書館運営委員会委員名簿
 4. 附属図書館運営委員会規則
 5. 「図書館利用説明会」の実施報告
 6. 平成13年度実施事業について
 7. 平成15年度新規概算要求書
 8. 奈良先端科学技術大学院大学電子図書館将来計画（案）
 - 8-2. 大学図書館における電子図書館の充実・強化の現状と課題
 9. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館研究開発室の人事について（案）
奈良先端科学技術大学院大学附属図書館研究開発室設置要項
 10. 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館アドバイザー委員会要項
附属図書館アドバイザー委員会名簿
 11. 運営委員会の運営について（案）
 12. 図書館設備費（図書購入費）

議題・審議結果

(前回議事要旨の確認)

配付資料2のとおり承認された。

(報告事項)

(1) 「図書館利用説明会」実施報告について

事務局から配布資料5に基づき、平成14年度の電子図書館利用説明会(春期)について報告があった。

(2) 平成13年度実施事業について

事務局から配布資料6に基づき、平成13年度実施事業について報告があった。

(審議事項)

(1) 平成15年度概算要求について

山口館長から平成15年度概算要求事項の「電子図書館サービスの外部サービス提供基盤システムの新設」と「電子図書館高度化のための研究開発室の新設」について配布資料7に基づき提案し説明があった。審議の結果、承認された。

(2) 将来構想について

山口館長から配布資料8に基づき、電子図書館将来計画(案)が継続審議となっていることについて説明があり、今後も当委員会において引き続き検討していく、平成14年6月までにまとめる方針を示された。

また、山口館長から、「大学図書館における電子図書館の充実・強化の現状と課題」について、配布資料8-2に基づき提案し説明があった。意見があれば5月上旬までに館長に提出するよう依頼された。

(3) 研究開発室の人事について

山口館長から配布資料9に基づき、松本研究開発室長が4月1日付けで評議員に選出されたことに伴い、室長を免ずることについて報告し、後任の室長については、山口館長が兼任することについて提案し、承認された。

また、研究開発室設置要項第3条(2)の職員である情報科学研究科吉川助教授の室員を免ずることについて報告し、新たに情報科学研究科楳勇一助教授と情報科学センター藤川和利助教授の2名を研究開発室設置要項第3条(2)の職員とすることについて提案し、承認された。

発令については、室長、室員とも人事手続き上6月1日付けの予定である旨館

長から説明があった。

次に、欠員となっている研究開発室設置要項第3条(3)の助手1名の補充については、情報科学研究科と現在調整中であり、候補者が決まり次第運営委員会に諮る旨山口館長から説明があった。

研究開発室の人事について審議する際に、今後は今まで提出を求めていた別添資料の「履歴書」と「研究業績書」の提出をなくして審議する旨の提案を山口館長から出され、承認された。

(4) アドバイザー委員会委員について

山口館長から配布資料10に基づき、平成14年4月30日で任期が切れる井上友二氏と、平成14年8月31日で任期が切れる中井万知子氏の2名に対してアドバイザー委員として再任する提案と、新たに千葉大学の前附属図書館長土屋俊氏をアドバイザー委員として迎える提案をし、審議の結果、承認された。

(5) 運営委員会の運営について

山口館長から配布資料11に基づき、提案し、審議の結果、承認された。

(6) 事業報告について

山口館長から今後定期的に、図書館が行った事業及び図書館のサービス提供の面から見たデータ(利用者数、貸し出し数など)を作成し、運営委員会に報告する旨の説明があった。

(7) その他

1. 図書購入経費について

事務局から配布資料12に基づき、図書館設備費(図書購入費)について、説明があった。

2. 保存図書館構想について

山口館長から、近畿地区国立大学図書館協議会の中で共同利用できる保存図書館構想が出されているが、本学としてもこれに参加していきたいと考えている旨の発言があった。

3. 附属図書館運営委員会規則の見直しについて

山口館長から配布資料4「附属図書館運営委員会規則」の見直しを提案し、次回の運営委員会で審議することになった。

附属図書館運営委員会（平成14年度 第2回）議事要旨

- (1) 日 時 平成14年7月9日（火）10時30分～12時20分
- (2) 場 所 附属図書館1階会議室
- (3) 出 席 者 山口委員長、西谷、高橋、加藤、相原、飯田、森、大城、山本の各
委員
欠 席 者 砂原、関、垣内、橋爪の各委員
研究開発室 藤川助教授、羽田助手
事 務 局 末次学術情報課長、中崎学術情報課課長補佐
築部情報管理係長、小堀情報サービス係長
藤岡専門職員、星屋専門職員、大石情報管理係係員
- (4) 配付資料一覧
1. 第2回附属図書館運営委員会議事日程
 2. 前回議事要旨（案）
 3. アドバイザー委員会名簿
 4. 附属図書館統計資料（平成14年度第1四半期）
附属図書館統計資料（参考）（平成13年度）
 5. 平成13年度図書購入費決算額
 6. 平成14年度図書購入費執行計画（案）
 7. 奈良先端科学技術大学院大学電子図書館における学術情報発進機能の強化のため
の方策
 8. 学術情報発信に向けた図書館機能改善連絡会（第1回）
 9. 学術情報の流通基盤の充実について（審議のまとめ）
 10. 今年度の著作権許諾の取り組みについて（案）
 11. 平成14年度雑誌保存期間リスト（案）-----図書館分

議題・審議結果

(前回議事要旨の確認)

配付資料2のとおり承認された。

(報告事項)

(1) アドバイザー委員会委員について

委員長から配付資料3について以下のとおり報告があった。

- ・井上友二氏に再任の依頼をしたが、任期満了をもっての辞退とともに、同企業の山本修一郎氏を推薦されたため、山本修一郎氏を7月1日付けで委員に迎えた。
- ・中井万知子氏に再任の依頼をしたが、任期満了をもっての辞退とともに、同図書館の田屋裕之氏を推薦されたため、田屋裕之氏を9月1日付けで委員に迎えることとなった。
- ・千葉大学の前附属図書館長 土屋俊氏を7月1日付けで委員に迎えた。

(2) 事業報告（平成14年度第1四半期）について

事務局から配付資料4について報告があった。

(審議事項)

(1) 平成14年度図書館図書購入費の執行計画について

事務局から配付資料5、6について説明があり、審議の結果、承認された。

なお、予算確定前に定期購読の確約を必要とする外国雑誌の購入価格が、為替変動等の理由によって予算額を超過した場合、平成15年度以降、その不足額を当該研究科で補填することについて検討してもらうよう委員長から要請があった。

(2) 奈良先端科学技術大学院大学電子図書館における学術情報発進機能の強化のための方策について

委員長から配付資料7、8、9について説明があり、審議の結果、承認された。

(3) 今年度の著作権許諾の取り組みについて

委員長から配付資料10について説明があり、審議の結果、承認された。

(4) 図書館分雑誌の保存期間について（追加）

委員長から配付資料11について説明があり、審議の結果、承認された。

(5) その他

1. 研究開発室人事について

委員長より、研究開発室助手のポスト（定員2名）のうち現在空席になっている1つを補充し、研究開発室体制を充実していく方向である旨の報告があった。

2. 附属図書館運営委員会規則の見直しについて

次回の運営委員会で審議することとなった。

附属図書館運営委員会（平成14年度 第3回）議事要旨

持ち回りにより標記委員会を開催した。

期 間 平成14年9月5日（木）から平成14年9月9日（月）

出席者 山口委員長、砂原、西谷、関、高橋、加藤、垣内、相原、飯田、森、橋爪、大城、山本の各委員

<審議事項>

附属図書館研究開発室の人事について

情報科学研究科 情報生命科学専攻所属の助手 森島直人を平成14年10月1日付けで附属図書館研究開発室室員に発令することについて、平成14年9月9日付けで承認された。

平成13年度運用専門部会（第1回）議事要旨

1. 日 時 平成13年7月17日(火) 10時00分-11時30分
2. 場 所 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館会議室
3. 出席者 谷原部会長、藤原、井上、高橋、経塚、野村、飯田、小泉、大城の各委員
欠席者 白井委員
事務局 末次学術情報課長、坂本学術情報課長補佐、
河本情報管理係長、奥田著作権・データベース担当専門職員、
徳平情報処理担当専門職員、永田情報サービス係主任、
伊藤情報サービス係員

4. 配布資料一覧

1. 平成13年度附属図書館運営委員会運用専門部会委員名簿
2. 前回議事要旨
3. 電子化進捗状況
4. 平成12年度図書購入費決算額
5. 平成13年度図書購入費執行計画（案）
6. 平成13年度図書等資料購入予定額表
7. 平成13年度雑誌保存期間リスト（案）--図書館分
8. 平成13年度ブラウジング雑誌一覧（案）

5. 議事

< 報告事項 >

1. 平成13年度附属図書館運営委員会運用専門部会委員
配付資料.1に基づき、各委員の紹介がなされた。
2. 前回議事要旨の確認
配布資料.2に基づき、前回（平成12年度第1回）議事録が原案どおり了承された。
3. 電子化進捗状況について
事務局から、配布資料.3に基づき、雑誌、図書、学内論文、ビデオに関する電子化の進捗状況について、報告があった。

< 協議事項 >

1. 平成 13 年度図書館図書購入費の執行計画について

事務局から、配付資料.4 に基づき、平成 12 年度図書購入費の執行報告があった。

事務局から、配付資料.5 に基づき、平成 13 年度図書購入費の執行計画について、提案があり、審議の結果、提案の通り、了承された。

「文部科学省からの学年進行に伴う予算配分」がなくなる次年度以降の各研究科の図書購入費について審議された。

審議の結果、各研究科で必要とする資料購入費については、現状においてはそれぞれの研究科が費用を負担することを原則とせざるを得ない。しかしながら、全学的な長期的視野に立った資料収集の観点から、全学の共通経費による資料購入費の負担について、今後継続し検討していくこととなった。

2. 図書館雑誌の保存期間について（追加）

事務局から、配付資料.7 に基づき、附属図書館購入雑誌の中で、今までに保存期間を決められていなかった雑誌の保存期間について、提案説明があった。審議の結果、意見のある委員は、情報サービス係まで、メールで意見を寄せることとなり、特に委員から意見がない場合、了承されたこととすることになった。

3. ブラウジング雑誌の見直しについて

事務局から、配付資料.8 に基づき、附属図書館ブラウジングコーナーに配架されている、ブラウジング雑誌の見直しについて、提案説明があった。審議の結果、意見のある委員は、情報サービス係まで、メールで意見を寄せることとなり、特に委員から意見がない場合、了承されたこととすることになった。

平成13年度著作権専門部会（第1回）議事要旨

1. 日 時 平成13年8月20日（月）15時～17時
2. 場 所 奈良先端科学技術大学院大学附属図書館1F会議室
3. 出席者 森部会長
委員：関、楫、加藤（順）、桂樹、今元、塩寄、砂原、奥田、大城
の各委員
事務局：末次学術情報課長、坂本学術情報課長補佐、徳平専門職員、
河本情報管理係長、小堀情報サービス係長、奥田専門職員、
横山係員
4. 配付資料一覧
 1. 著作権専門部会委員名簿
 2. 前回、著作権専門部会議事要旨
 3. 平成11年度著作権許諾一覧
 4. 平成12年度著作権許諾一覧
 5. 講演・講義内容のデータベース化許諾一覧
 6. 著作権許諾交渉内訳（平成12年度）
 7. 電子化雑誌一覧
 8. 電子化図書一覧
 9. 電子化ビデオ一覧
 10. 電子化進捗状況（平成13年7月末現在）
 11. 電子化資料アクセス状況（2000.5-2001.7）
 12. 電子ジャーナルアクセス状況（2000.5-2001.7）
 13. 学位論文（修士論文・博士論文）のデータベース化について
 14. 学内論文内訳
 15. 学術著作権協会とのこれまでの経緯
 16. 無償許諾学協会誌一覧
 17. 学術著作権協会電子化許諾済み学協会出版物一覧/個別契約有償許諾分
 18. 未許諾学協会出版物一覧
 19. 京阪奈ライブラリー・コンソーシアム 2001.4
 20. 著作権許諾の今後の取組について（案）
5. 議 事
議事に先立ち、各委員及びオブザーバーから自己紹介並びに事務局の紹介があった。

報告事項

- (1) 前回議事要旨の確認
森部会長から、配付資料2により、前回議事要旨の確認を行い了承された。
- (2) 平成12年度及びこれまでの著作権許諾の状況について
事務局から、配付資料3-9により、平成12年度及びこれまでの著作権許諾の交渉状況及び実績について報告があった。
- (3) 電子化進捗状況について
事務局から、配付資料10により、電子化進捗状況について報告があった。
- (4) 学位論文(修士論文、博士論文)のデータベース化について
事務局から、配付資料13-14により、学位論文のデータベース化の状況について報告があった。
- (5) 学術著作権協会による許諾について
事務局から、配付資料15-18により、学術著作権協会を通じた許諾について報告があった。
- (6) 京阪奈ライブラリー・コンソーシアムの取組の状況について
事務局から、配付資料19により、京阪奈ライブラリー・コンソーシアムの取組状況について報告があった。

審議事項

- (1) 著作権許諾の今後の取組について
森部会長及び事務局から、配付資料20に基づき提案説明があり、審議の結果、以下のことが了承された。
 1. 既に電子化許諾を得ている学協会・出版社などを通じての拡充
 - ・ 図書については選定を各研究科・センターに照会し、選定されたものは電子化許諾も含めて購入する。購入代金は著作権料で支払う。
 - ・ 雑誌については新規契約分は自動的に電子化許諾も購入する。電子化許諾料のみを著作権料で支払う。
 - ・ 東京大学出版会、サイエンスフォーラム、ティー・アイ・シーの図書について、各研究科・センターに選定依頼を行う。委員から運用専門部会委員に拡充方策の協力をお願いする。
 2. 学協会・出版社などに関係する教官を通じての拡充
 - ・ これまで許諾を得ている無償許諾分についてはこれを継続する。
 - ・ 未許諾の学協会誌については基本的に学術著作権協会を通じて許諾を得る。
 - ・ 料金は電子化料が1頁10円、印刷料については本学で統計が採れるまで保留。

- ・未許諾分について、これまでの経緯を調査し、その結果を各委員に電子メールで報告すること。
3. 国内雑誌バックナンバーを対象とした拡充
平成11年度からの重点課題であり、成果としてCQ出版社、化学同人から許諾を得た。さらに拡充するために、未許諾の出版社、雑誌について、各委員に電子メールで報告すること。
 4. 京阪奈コンソーシアムによる拡充
エルゼビア社、A P (Academic Press)、A C S (American Chemical Society)の雑誌についてコンソーシアムの各企業、大学に照会しているところであり、その結果が判明した時点で電子ジャーナルのコンソーシアム契約での価格交渉を行う予定である。
 5. 本学教官著作を対象とした拡充
委員から教官に協力を要請する。また、学内生産物については、迅速に電子化できるように権利処理を含め関係部署間で詰めること。
 6. 講演・講義内容の電子化許諾の拡充
電子化許諾数は順調に伸びているが、さらに拡充するために委員から関係教官に周知する。
なお、ビデオ情報を閲覧するための情報システム環境が未整備であるので、早急に整備する必要があるとの意見が出された。
 7. 学位論文の電子化許諾の拡充
各研究科の現在の方針は充分議論を積んだ上での結論であるが、バイオの博士論文の公開時期及びバイオ、物質の修士論文の要旨の取扱については、各研究科に持ち帰り再検討すること。
 8. 科学研究費成果報告書の電子化の推進
 - ・国立国会図書館に配置し広く研究者等に公開していること、また、当該研究機関の図書館等にも配置し閲覧・文献複写サービス等に供することとされていることもあり電子化する方向で手順を検討する。
 - ・学外者が共同執筆者となっている報告書については、研究代表者にまとめていただく必要があり、そのための承諾書の様式を作成すること。

